

今年が終わろうとしています。

よく言われると思いますが、みなさんにとって、今年はどんな一年でしたか？あんまり思い出したくない年になってしまったのでしょうか。

それでも、感染者が増大していく新型コロナ禍にあって、生徒の皆さん、先生方の努力と協力によって、無事に二学期の終業式を迎えられることをうれしく思います。

さて、GoTo中止が遅すぎるとか、4人以上の会食はよくないとか、コロナ対策について、ニュースではいろいろ取沙汰されていますが、みなさんはどんなふうに感じていますか？あんまり関係ないですか？

基本は3つの原則だと言われています。

- 1) 人が集まる場所に入るときは、マスクを着用する。
- 2) 公共の物に触れた時は、手を洗うか消毒をする。
- 3) 発熱などの症状を認めるときは、外出を自粛する。

ある専門家は、この3つが守られていなければ、どんな予防システムを考えても意味をなさないし、逆にこれが守られれば流行の勢いは収まっていくと言っています。

国によっては「外出自粛」や「マスク着用」の違反に罰則を設けていますが、これについてはどう思いますか？いわゆる、権力的な「感染対策」です。私はこれについては、そのやり方は悲しいな、と思います。リスクに直面している私たちが自主的に家の中に入る、ということと、政府や権力によって、家に入れられて、外からカギをかけられる、ということは、思った以上に、違いが大きいと思うからです。国として考えると、リスクに対して自己管理できる社会であってほしいです。私たち個人個人が、リスクを理解して、そのうえで自己管理を重ねていく、のが理想だと思いますし、それができる社会だと思いたいです。でも、日本全体の今の感染状況を見ると、ぎりぎりの状態かもしれないですね。

篠ノ井高校のみなさんは、どちらを選択しますか？国から強制されずとも、積極的に、先の3つの原則を、粛々と実行する方を選びませんか？

さっき、「あんまり関係ないですか？」と言ったのは、最近オクレンジャーでの健康観察を出してくれない人が増えているからです。「長野市や北信地域では、感染者が減ってきているし、大丈夫なんじゃね？若い世代はコロナになっても症状軽いみたいだし、大丈夫なんじゃね？周り誰も熱なんて測ってないし。」という感じ、あるのかな？

繰り返しになってしまうけど、基本はさっきの3つの原則なんです。あの、3つ目の「発熱などの症状を認めるときは、外出を自粛する」というのは、自分で自分の体のことがわかっていないと、できません。案外、急に熱が出ていることは、あるんです。本当に小さな、何気ない3つの原則なんだけど、あれを誰もが守ったら、確実に医療機関に従事する人たちは、楽になるはずですよ。スマホでいいから、ニュースを読んでください。決してコロナは収まってきてはいません。それを見て、自分で考えて、どうか毎日熱を測ってください。

今日はもう一つ、というか、もうひとくくり、話したいことがあります。

「人生なんて、自分の思い描いたとおりにならなくて当たり前」。これは、2018年に75歳で亡くなった女優 樹木希林さんの言葉で、「一切なりゆき」という年間ベストセラーになった本の中の言葉です。そのあと、

「いつも、『人生、上出来だわ』と思い、うまく行かないときは、『自分が未熟だったのよ』でおしまいにする。「こんなはずでは」と思う時、他人の価値観や誰かと比較してそう思うだけじゃないのか、考えた方がいい。本人が好きなができていて、「ああ、幸せだな」と思っていれば、その人の人生はキラキラ輝いていますよ。」

と続きます。

失敗とか、成功とか言うけれど、失敗とは一体どんなことを指すのでしょうか？「ああ、失敗だ」と思うことは、他人の価値観や、誰かと比較してそう思うだけじゃないのか、考えた方がいいかもしれないですね。だけど、それを考えたうえで、「ああ、やっぱり失敗だ」と思う時は、また違う意味があるかもしれないです。

東京マラソンのレース・ディレクターの早野忠昭さんがあるインタビューで答えていたことが、心に残っています。「失敗したら、どうすればいいんでしょうか？」という質問に、彼は「失敗したら、まず落ち込めばいいんじゃないでしょうか」と答えました。「で、次には周到な準備をすればいいんです。」と言っていました。

これは私にとって、目からウロコだったんですよ。そうか、落ち込めばいいんだと。私たちが自分と向き合って考えるのは、良くない状況に置かれたときです。例えば、健康な人が「なんで自分はこんなに健康なんだろう」とは考えません。「なんで試合に勝ったんだろう？」「なんでこんないい成績がとれたんだろう？」とはあまり考えないですよ？

「失敗だ」と思った時には、まずは落ち込んで、自分と向き合って考えるいい機会だと思い、これは自分が一歩踏み出して行動したからだと思ってください。で、次には、周到な準備をしてください。

3年生、年が明けても、受験に挑む人が多いと思います。人生に完全なる「失敗」はありません。堂々と入試という関門に挑んでください。

「よいお年をお迎えください」という言葉がありますが、私はこの言葉が好きです。たった一晩明けるだけで、何が新年だと、高校生の時の私は思っていました。でも、今は、この一晩で一年が終わる、そして新しい年が明けるという意味合いは、大きいものだと思っています。全校のみなさん、よいお年をお迎えください。まだ始業式に会いましょう。私の話は以上です。